

シンガポールに「桜」到来！ 京都物産・観光展 “Kyoto Sakura Celebration”

1 物産展の概要

2月22日から3月6日にかけて、シンガポール高島屋において、京都府に特化した物産・観光展“Kyoto Sakura Celebration”が開催されました。主催は、同店、京都府及び公益社団法人京都府物産協会。京都から20の老舗が出展し、お茶、日本酒、和菓子、漬物、七味、京都牛、工芸品など様々な分野の逸品が展示即売されました。



2 物産販売 + 観光誘客

京都府が観光パンフレットを配布するため、桜の絵柄をあしらった特設棚を用意しました。京都ならではの情報が記載されたフリーペーパーや地図は特に人気があり、数百部用意されたにもかかわらず、最初の週末を迎える前になくなってしまいう勢いで、京都人気を裏付けていました。



また、さらにその横には、高島屋内に店舗を構えているJTBアジアパシフィック

が出張販売スペースを設けて、来場者から京都観光の相談を受ける体制が取られていた点が特筆されます。桜をキーコンセプトに物産と観光をセットにして京都のイメージを売るという、主催者のアイデアが光る取組みであったと言えます。

3 知事トッププロモーションと舞妓・芸妓パフォーマンス

2月27日（土）には、山田啓二京都府知事が来星し、高島屋1階でトップセールスと京都クイズ大会を行いました。クイズ大会では京都に関する基礎的なものが多く出題され、京都リピーターと思しきシンガポリアンから積極的に手が挙がり、200名を超える会場は熱気に包まれました。引き続き舞妓と芸妓による舞も披露され、会場の皆が京都の文化と物産に改めて魅了されていました。



4 クレアシンガポール事務所の活動支援

今回、当事務所は主に、京都府知事のアテンドと、当地でのメディア広報に協力いたしました。ストレーツタイムズ、時事通信社、シンガポール経済新聞などが大きく取り上げました。



在シンガポール大使館と連携することにより、当事務所は合わせて 30 近くの現地及び日系のメディアに情報を流しています。事前に依頼をいただけましたら、プレスリリースを流すことが可能です。できるだけ余裕をもって、和文及び英文の資料を御準備ください。

5 SJ50認定申請を忘れずに！

オールジャパンの視点から、今回の事業で唯一もったいないと思った点は、日本・シンガポール外交関係樹立 50 周年（SJ50）記念事業の認定申請が間に合わなかったことです。他の自治体におかれましても、手続きはさほど難しくありませんので、ふるってご登録いただければと思います。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/s_sa/sea2/sg/page3_001496.html

（鍋岡調査役 京都府派遣）